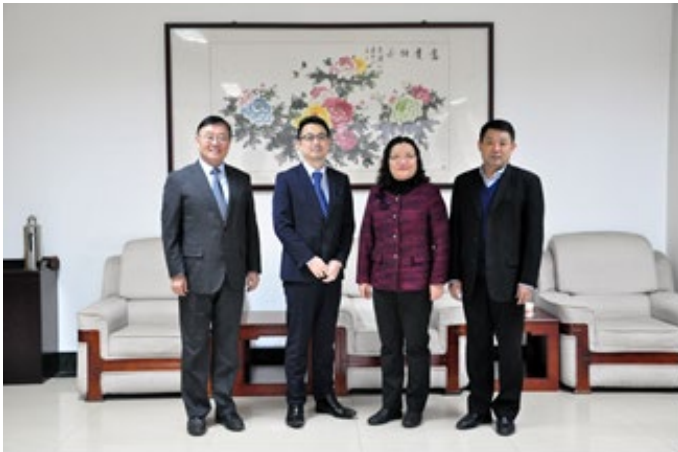


## 山東島津放射技術講座 第3期第5回講義 報告

松本圭一

2018年12月1日から12月8日までの8日間、山東島津放射技術講座のため中国山東省済南市にある山東医学高等専科学校を訪問して「核医学検査技術学」の講義を行ってきました。私自身は第2期の2012年5月に1度訪問していますので、6年半ぶりの訪中となります。今回も同校で4日間の集中講義を行った後、島津企業管理（中国）有限公司の方々とお会いするため北京経由で帰国しました。

集中講義の対象者は医学影像系学科の2年生約200名であり、1日当たり午前3時間と午後2.5時間の講義を月曜日から木曜日まで4日間行いました。日本の大学における1コマの時間（90分）に換算すると約15コマ（ $\{(180分+150分) \times 4日間\} / 90分 \approx 14.7$ コマ）となり、週1コマの時間割であれば半期分に相当する時間数となります。「核医学検査技術学」を未履修の学生でありましたが、同校医学影像系の李明教授による通訳と中国語に翻訳された講義資料があるため講義が進むにつれて活発な質疑応答となりました。



葛淑兰 副校長らとの集合写真



講義風景

冬の済南市は日本の気温と10°C以上異なりますが、山東医学高等専科学校のキャンパスから見える「千佛山」に興味を持ち、帰国前日に李先生とともに山登りをしてきました。6年前とは異なり高速道路などの交通網が発達するだけでなく、数多くの高層マンションが建ち並び、経済成長を肌で感じました。



千佛山山頂からの風景

結びにあたり、今回の講座でも終始大変お世話になりました李先生をはじめ山東医学高等専科学校の皆様、および株式会社島津製作所の方々に深く感謝申し上げます。また、本講座を学修した学生が、核医学（検査技術学）に興味を持ち、近々中国でも販売予定の乳房専用PET装置など最先端の医療機器を用いて、大きく活躍してくれることを切に願います。